

## 【市長公室】

部を構成する課等	課等の主な役割
秘書課	・市長、副市長の適切なスケジュール管理のほか、ほう賞、表彰事務を行っています。
企画政策課	・将来を見据えた総合的、計画的な行政運営を図るための総合計画に基づく施策の進捗管理や、重要施策の企画及び調整を行っています。
人事課	・職員のスキルアップなどの研修を始めとした人材育成を行っています。 ・職員の採用、給与のほか定員管理、配置などを行っています。
情報課	・市に関わる様々な情報を市民に伝えるため、「広報ながくて」の発行や市ホームページを運用しています。 ・行政サービスの向上を目指した業務のデジタル化を進めています。

## 令和6年度 部の重点取組

### 事業の総点検を行います

市長公約に基づき、限られた財源の中で、社会情勢の変化や今の市民ニーズを踏まえた効率的・効果的で持続可能な行財政運営を行うため、市長の旗印のもと事業総点検を行います。

### 令和6年度振り返り

市が実施する全事業のうち、庁舎管理費や法定受託事務、臨時的経費を除いた338事業について、目的に対する成果の達成状況など6つの視点から点検を行い、継続・改善・廃止の必要性を検討しました。その結果、令和7年度から見直しを進める事業は46事業に上り、52,845千円の経費削減および収入確保につながりました。今後も令和8年度の予算編成に向けたさらなる改善を図るため、令和7年度末まで事業総点検を継続して実施する予定です。

### 福祉の家温泉交流施設の運営を新たな公民連携で進めます

市の財政負担を軽減しながら施設の可能性を最大限に引き出すため、温泉交流施設を普通財産化したうえで、新たな民間事業者を公募し、令和7年度からPFIコンセッション方式(運営権の設定)による運営に転換します。

### 令和6年度振り返り

温泉交流施設(長久手温泉ござらっせ)の運営について、令和7年度から従来の指定管理者方式からPFIコンセッション方式(運営権の設定)による運営に転換しました。運営権を設定することで、市の財政負担を軽減しつつ、民間事業者の経営力や技術力を活かした運営形態への移行を実現することができました。

## 旧香流苑跡地の土地利用計画立案を市民参加で取り組みます

市民との意見交換を踏まえて緑の保全範囲を確定し、緑の保全・活用・創出、管理手法等について検討します。また、残りの部分については、民間サウンディングを実施し、令和7年度に売却を進めるための詳細条件を整理します。

### (令和6年度振り返り)

跡地の利用方針について、みんなで作るまち条例の理念のもと、地域住民の皆様と解体撤去工事の進捗を共有し、現地視察を織り交ぜながら、ワークショップ形式等での意見交換会を重ねました。売却想定地については民間サウンディングを行い、その結果も意見交換会での検討に反映しつつ、跡地の利用方針を取りまとめました。意見交換会は、どなたでも途中参加できるよう、資料や議事録は市ホームページで公開し、各回毎に必ず振り返りを行う等の情報開示に努め、令和5年度からの実施分を含め延べ297名の方に参加いただきました。

## ジブリパークで市の魅力を発信します

長久手市の自然や暮らし・伝統文化などをまとめた PR 動画を作成し、国内外からの来場者が訪れるジブリパークにおいて、市の魅力を発信します。

### (令和6年度振り返り)

名古屋学芸大学メディア造形学部と連携し、市民やジブリパークをはじめとする市内来訪者を対象に、本市の魅力を発信する動画を制作しました。完成した動画は、モリコロパーク北口案内所や、市が保有するデジタルサイネージなどで公開するほか、SNS 等を活用して広く発信していきます。

## 市職員の時差出勤を導入します

職員のワークライフバランス及び子育て、介護等に柔軟に対応できるよう、働き方改革の一環として時差出勤を導入します。

### (令和6年度振り返り)

働き方改革の一環として、7月7日から時差出勤制度を導入しました。午前7時30分から午前10時までの間に8つの出勤時刻を設定した結果、延べ765人(実人数70人)、正規職員の約16%が利用しました。子育て、介護に限らず幅広く活用され、柔軟で働きやすい職場環境の整備につながりました。

## 業務のデジタル化を進めます

ICT を活用した行政運営の合理化・効率化を実現するため、電子文書管理・電子決裁システムを導入し、業務のデジタル化を進めます。

### (令和6年度振り返り)

電子文書管理・電子決裁システムを導入し、令和7年4月から運用開始しました。これにより、文書管理のデータ化によるペーパーレス化が進め、行政事務のさらなる合理化・効率化を図っていきます。

## 【総務部】

部を構成する課等	課等の主な役割
行政課	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報公開や個人情報保護に係る手続きの窓口を行っています。</li><li>・選挙啓発他、選挙管理委員会の事務局を担っています。</li><li>・市民に見える形での業務改善・見直しの推進のため行政評価を実施しています。</li></ul>
財政課	<ul style="list-style-type: none"><li>・市政全般に係る予算の編成・執行管理を行っています。</li><li>・公共施設全般の管理計画の作成・管理や、市所有地や市庁舎の維持管理を行っています。</li></ul>
市民課	<ul style="list-style-type: none"><li>・戸籍や住民基本台帳の管理をしています。</li><li>・住民票や各種諸証明等発行事務を行っています。</li><li>・マイナンバーカードに係る手続き窓口を行っています。</li></ul>
税務課	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人市・県民税、法人市民税、軽自動車税、固定資産税及び都市計画税などの課税業務を行っています。</li></ul>
収納課	<ul style="list-style-type: none"><li>・市税の収納及び徴収、督促及び催告などの事務を行っています。</li><li>・納税相談や納税証明発行事務を行っています。</li></ul>

## 令和6年度 部の重点取組

### 計画的・効率的な財政運営に努めます

情勢の変化等を的確に「長久手市中期財政計画」に反映させ、これに基づき、計画的・効率的な財政運営に努めます。

#### (令和6年度振り返り)

ここ数年の物価高騰・労務単価上昇の影響を受けて、毎年度経常的に支出する人件費・扶助費・物件費・維持補修費などの増加傾向が続いています。見込むことができる税収等の歳入の範囲内で、必要な市民サービスを提供し行政運営を継続していけるよう、事業総点検の成果等も見込んだ計画を作成中です。

### 事務事業の行政評価を行い、業務改善を引き続き行います

客観的かつ分かりやすい成果指標を設定し、行政評価(内部・外部)を実施します。

#### (令和6年度振り返り)

各部署が適切な成果指標を設定できるよう、外部講師による職員研修やヒアリングを実施しました。行政評価としては、79の中事業について令和5年度事業の分析と改善検討を行いました。その内4事

業を対象に、外部委員による外部評価を実施し、内部評価が適切に行われているか確認を行いました。

## 適正な入札・契約事務を維持します

庁内の入札契約制度検討委員会や作業部会を実施し、適正な入札・契約業務を維持するよう、全庁横断的に職員の意識向上に努めます。

### (令和6年度振り返り)

適正な入札・契約業務を維持するため、庁内の部長等で構成される入札契約制度検討委員会や技師で構成される作業部会を実施し、入札契約制度の検討を行いました。職員に対し契約事務説明会を開催し、入札契約事務の実施方法について周知を行いました。

## 戸籍への氏名のフリガナ記載の準備を行います

令和7年度に施行される戸籍法改正に伴い、戸籍システム等の改修など必要な準備を進めます。

### (令和6年度振り返り)

戸籍のフリガナ記載に関する戸籍のシステム改修について、令和7年2月末に完了しました。令和7年度に送付するフリガナの個別通知について引き続き準備を進めます。

## 市民サービスを行う上で必要な財源を生み出します

市税の適正な賦課と収納率の向上を図ります。また、課税内容に関する相談にあたっては、個別丁寧な説明に努めます。

### (令和6年度振り返り)

市税の適正な賦課と収納率の向上を図ると共に、納税者個々の状況に真摯に向き合いながら収納率の向上に努めました。

## 【くらし文化部】

部を構成する課等	課等の主な役割
地域共生推進課	・地域共生社会の実現に向けて、重層的支援体制整備を進め、自治活動や市民活動を応援しています。 ・法律・消費生活相談を行っています。
観光商工課	・観光・商工業の振興、多文化共生社会や男女共同参画社会の実現、大学との連携を行っています。
環境課	・良好な生活環境に向けて、脱炭素社会の実現、ごみの収集と減量の啓発、自然環境の保全を行っています。
安心安全課	・市民の安心安全な暮らしに向けて、防犯や交通安全、コミュニティ交通、防災や消防活動を行っています。
生涯学習課	・豊かな人間育成に向けて、文化芸術や生涯学習の普及、文化財の保護やスポーツの振興を行っています。

### 令和6年度 部の重点取組

#### 地域のつながりづくりや孤立対策を進めます

小学校区ごとに配置する地域共生担当とCSW(コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)が両輪となって、地域のつながりづくりや社会参加に向けた重層的支援体制整備に取り組みます。

#### (令和6年度振り返り)

地域共生担当とCSWを6つの小学校区ごとに配置し互いに連携しながら、地区社会福祉協議会や受理会議、各種サロンなど様々な地域の会合や催しなどに参加して困り事の相談や関係性づくりなど、地域ごとに特色のある地域づくりを行いました。また、相談者の悩みごとを傾聴し、必要に応じて法律相談や司法書士相談、消費生活相談などの適切な専門相談を活用し、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を軸とする重層的な支援体制整備に取り組みました。

#### 地域資源を活かした長久手の観光を充実します

市の観光PRを充実させるため、観光の中心を担う観光交流協会と連携し、官民が協働した観光事業を実施します。また、「観光交流基本計画」を見直し、地域資源を活かした観光戦略づくりに取り組みます

#### (令和6年度振り返り)

観光戦略の策定に向けて、基礎調査を実施し、市の観光の現状整理及び課題を見出しました。その

調査結果を分析しながら令和7年度では、専門家も交えて「観光戦略アクションプラン」を策定します。

## 地域全体でゼロカーボンを進めます

地域全体でゼロカーボンを推進していくため、「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定し、共通目標や市民、事業者、市が取り組むべき施策や行動を示します。

### (令和6年度振り返り)

令和7年度の策定完了に向け、6年度は計画の骨子案を作成しました。また、策定にあたり、学識経験者や事業者を委員とした、脱炭素アドバイザー会議を開催しました。

## 公共交通ネットワークの改善に取り組みます

公共交通ネットワークの改善に向けて、新たな移動手段として、市東部でデマンド交通(利用者が電話などで乗車を予約する交通手段)の導入に向けた実証実験を行い、利便性の向上に取り組みます。

### (令和6年度振り返り)

令和6年10月から2か月間のデマンド交通の実証実験を行ったところ多数の利用が認められ、N-バス東部線沿線エリアにおけるデマンド型交通の有効性が確認できました。令和7年度も引き続き、公共交通ネットワークの改善に向け、2回目の実証実験を行い、併せて、N-バスの利便性向上を検討していきます。

## 長久手の歴史の学びの場と交流の場を整備します

国指定史跡長久手古戦場や小牧・長久手の戦いを後世に継承し、歴史文化を活かした魅力ある公園とするため、古戦場公園の再整備を進め、ガイダンス施設の建設工事を実施します。

### (令和6年度振り返り)

国指定史跡長久手古戦場や小牧・長久手の戦いのガイダンス施設となる「長久手古戦場記念館」の建設工事を進めるとともに、展示物の制作業務に着手しました(整備工事の進捗率65%)。令和7年度も引き続き、財源確保に努めながら、建設工事及び展示制作業務を進め、令和8年4月に長久手古戦場記念館をオープンする予定です。

## 【福祉部】

部を構成する課等	課等の主な役割
福祉政策課	・高齢及び障害福祉行政の総合的な企画や、地域と協働して権利擁護や災害時における避難行動の支援を行っています。
福祉課	・自立した生活を支えるために、障がいのある人への手当やサービスの支給、生活に困窮している人への就労支援や家計支援を行っています。
長寿課	・介護予防事業や、支援が必要になった場合に介護サービスが提供できるように介護保険事業の運営を行っています。
保険医療課	・病気やけがをしたときに、安心して病院にかかることができるように、国民健康保険の運営や子ども医療費などの支給を行っています。
健康推進課	・市民が健康で心身ともに自立した生活ができるよう、予防接種や健診などを行っています。

### 令和6年度 部の重点取組

#### 子ども医療費の助成を拡大します

子どもの医療費のうち、10月から高校生世代の通院医療費まで拡大して医療保険の自己負担分を市が支給します。

(令和6年度振り返り)

10月1日から子どもの医療費の支給対象を高校生世代の通院医療費まで拡大しました。

#### 带状疱疹予防接種費用を助成します

带状疱疹の発症率低減と重症化予防のため、50歳以上の市民を対象にワクチン接種費用の助成を7月から開始します。

(令和6年度振り返り)

7月1日から開始し、年度内に1,277件の带状疱疹予防接種費用を助成しました。

#### 障がいのある人の計画相談支援を推進します

障がいのある人の相談窓口を充実させ、意思決定を支援し、その人に合ったサービス利用につなげることで、自立生活を支えます。

## (令和6年度振り返り)

---

相談支援事業所の新規開設及び相談支援専門員の配置に係る補助金制度を創設し、1者が相談支援事業所を開設しました。これにより、地域における相談支援の選択肢が広がり、本人の意思決定を支える環境の拡充が図られました。今後も関係機関と連携し、質の高い相談支援体制の確保に努めます。

## 介護予防支援を推進します

高齢者自身がつ力を最大限に活かして、自立した生活を送りつづけることができるよう介護予防事業の見直しを進めます。

## (令和6年度振り返り)

---

高齢者の自立支援のために、専門職による短期集中予防サービスをモデル事業として開始しました。

## 【子ども部】

部を構成する課等	課等の主な役割
子ども政策課	<ul style="list-style-type: none"><li>・こどもの権利を守る「こども条例」を制定します。</li><li>・子育て支援の事業計画として「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。</li></ul>
子ども未来課	<ul style="list-style-type: none"><li>・公営保育所の運営、また、私営の保育所や幼稚園への助成をしています。</li><li>・児童クラブと子ども教室を一体化した放課後事業「ながくてひろば」を運営しています。</li></ul>
子ども家庭課	<ul style="list-style-type: none"><li>・全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、切れ目ない支援を行うため、「こども家庭センター」を設置し、家庭内の相談や育児についての相談を受け付け、支援します。</li><li>・発達に不安がある児童の療育を支援しています。</li></ul>

### 令和6年度 部の重点取組

#### 保育園の環境を整え子育てを支援します

令和6年4月に民間保育所2園を開園しました。これにより、保育所定員を拡大し、待機児童対策を推進します。また、令和7年4月に、市が洞保育園を、協定を締結することにより、市が民間法人の運営に関与することができる「公私連携型保育所」に移行するにあたり、経年劣化で修繕が必要な部分の大規模改修工事を実施します。

#### (令和6年度振り返り)

民間事業者による保育所2園の開園により、令和6年4月時点の待機児童が解消できました。

2歳児クラスの育休退園について、令和7年4月から廃止することを決定しました。また、市が洞保育園の「公私連携型保育所」移行に伴い、民間事業者と協定を締結しました。締結するにあたり、大規模改修工事を実施し、老朽化した木製の外壁及びデッキを人工木へ改修、空調機の取り換え等を行いました。

#### 放課後の居場所づくりを充実します

児童クラブと子ども教室を一体化し、名称を「ながくてひろば」とし、民間委託をしました。これにより、利用条件の緩和や利用時間の拡大を図り、また、待機児童対策を推進します。

#### (令和6年度振り返り)

民間事業者に「ながくてひろば」を委託し、新たに春、夏、冬の長期休暇に利用できるコースを新設しました。また、「校内交流型」を推進するため、西小学校区で、令和7年4月から児童クラブの実施を児童館から小学校内に移すと同時に、定員を増やして一体化を実施することを決定しました。さらに、

市が洞小学校区で、令和7年4月から放課後子ども教室を新たに設置し、一体化を実施することを決定しました。

## 地域で日常的に子育ての相談ができるようにします

市内の子育て支援団体に委託し、子育て家庭が日常的に相談ができる環境を整備し、ニーズ把握、情報収集・提供、助言・支援を行います。

### (令和6年度振り返り)

子育て支援を行うNPO法人に、市民にとって身近な場所での子育て相談及び地域連携として関係機関とのネットワークや協働体制づくりを委託し、令和6年度は、相談延べ件数 269 件、地域連携活動延べ件数72件の活動を行いました。

## 障がい児の就労を支援します

障がい福祉サービス事業所に委託し、障がいのある中高生等が就職し自立した生活が行えるよう、様々なプログラムを実施します。

### (令和6年度振り返り)

社会福祉法人に委託し、将来一般就労を目指す発達障がい等の特性のある中高生を対象に、「働くとは?」、「職場でのコミュニケーション」、「将来のイメージについて考える」等をテーマに、9/28、10/26及び11/30の3回にわたりプログラムを実施し、延べ17人の参加がありました。

## 産後ケアの自己負担を軽減します

「産後ケア事業(宿泊型・通所型・訪問型)」について、令和6年度から対象を拡大し、産後ケアを希望する方全てに自己負担の軽減を行います。

### (令和6年度振り返り)

令和6年度から対象者を拡大し、自己負担を軽減したことで、宿泊型は利用実人数38人、延べ日数132日、通所型は利用実人数64人、延べ日数300日、訪問型は利用実人数13人、延べ日数18日の実績となり、利用実人数及び延べ日数がともに増加しました。

## 初回の産科受診料を助成します

低所得の妊婦について、初回の産科受診料を助成します。また、保健師が初期の相談アプローチとして窓口等での聞き取り等を行い、継続的な相談支援を実施していくきっかけとします。

### (令和6年度振り返り)

初回の産科受診料の助成について、ホームページ、窓口等で周知を行い、令和6年度は1件の利用がありました。このケースでは妊娠初期に相談があったことで、必要な支援へ繋げることができました。

## 【建設部】

部を構成する課等	課等の主な役割
土木課	・道路や河川などを誰もが安全で快適に利用することができるよう、施設の整備や改修及び維持管理を行っています。
都市計画課	・「都市計画マスタープラン」に基づき、市街地整備や都市基盤施設の配置などを計画的に行っています。 ・良好な住環境の形成を目指し、建築等の確認・指導、住宅耐震の促進や空き家対策を行っています。
みどりの推進課	・まちの緑の創出を目的に公園・緑地等の施設整備や維持管理を行っています。 ・農あるくらしの推進を目指し、農の活性化に向けた支援を行っています。 ・平成こども塾では自然体験学習や学校連携プログラムを行っています。
下水道課	・快適な生活環境を形成するため、計画的に下水道を整備し、維持管理をしながら、効率的な事業経営を行っています。

## 令和6年度 部の重点取組

### 岩作地区狭あい道路の拡幅を行います

緊急車両の通行の支障や道路排水を整序するため、狭あい道路の拡幅や排水路改修を行います。

#### (令和6年度振り返り)

「岩作地区生活道路整備基本計画」に基づき、市道東島2号線の約55m区間について道路拡幅工事を行いました。残りの区間についても早期に整備が完了できるよう、引き続き用地交渉を進めていきます。

### 橋梁の長寿命化対策を行います

道路インフラの長寿命化や計画的な修繕を行うことで安全で快適な道路を整えます。

#### (令和6年度振り返り)

「長久手市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、4橋(高根橋、小深橋、石田橋、西鴨田橋)の修繕工事を行いました。令和7年度以降も引き続き、修繕工事を行います。

## 空き家の対策を行います

管理されない空き家を解消し、発生を抑制することで、良好な住環境の形成を推進します。

### (令和6年度振り返り)

過年度からの継続して対応している空き家を解消に繋ぐことができました。また、今後の空き家の増加を見据え、適切な管理を進めるための方針をまとめた「長久手市空家等対策計画」を、令和7年3月に策定しました。

## 香流川に植栽整備を行います

香流川緑地の植栽整備を進めることで、緑陰を確保し歩きやすい環境を整え、香流川を豊かな自然の都市空間とします。

### (令和6年度振り返り)

香流川左岸の草掛橋の上下流部において、ヤマザクラを10本植樹しました。また、溝下橋上流部においては、植栽整備を進めるための詳細設計を行いました。

## 下水道使用料の改定を進めます

快適な生活環境を形成するために進めてきた下水道事業を健全で持続可能な経営を確保し、施設を次世代へ繋いでいくために下水道使用料の改定を進めます。

### (令和6年度振り返り)

下水道使用料改定の必要性について、市民説明会や広報ながくて等にて周知を行い、令和6年第3回定例会(9月議会)で、長久手市下水道条例の一部を改正する条例についてを上程し、令和7年4月1日から使用料を改定することとなりました。

## 【教育部】

部を構成する課等	課等の主な役割
教育総務課	・教育委員会の事務や学校施設の建設修繕及び学校教育全般の事務を行っています。
給食センター	・保育所及び小中学校へ安心安全な給食の提供を行っています。
中央図書館	・図書の貸出や資料収集、学校教育の支援等、様々な情報の管理提供を行っています。

### 令和6年度 部の重点取組

#### 老朽化した長久手小学校の校舎を改修します

長久手小学校の校舎において老朽化が進んでおり、大規模な改修工事が必要なことから、今年度を実施設計業務を行い、令和7年度から修繕工事を実施します。

##### (令和6年度振り返り)

今年度、大規模改修工事の実施設計を行い長寿命化のための改修箇所、方法を検討し、学校要望を反映させた改修図面を作成し、令和7年度の工事発注に向けた準備を行いました。

#### 中学校の部活動運営を見直し質の向上を図ります

スポーツ庁及び文化庁から、中学校の休日の部活動について地域移行を進めるよう提言がなされたことを受け、民間事業者へ運営を委託し、生徒の技術的指導における質の向上や、教員の負担軽減を図ります。令和6年9月からの実施を予定し、準備を進めています。

##### (令和6年度振り返り)

令和6年9月から中学校の休日の部活動を民間事業者に運営を委託して実施しています。12月には生徒、保護者、教職員にアンケートを実施し、部活動検討委員会の中で、次年度に向けての改善点を検討しました。

#### 小学校水泳授業における教育環境の向上を図ります

老朽化が進む小学校のプールでの水泳授業を廃止し、民間事業者へ委託することにより、施設に係る維持管理費の軽減や教育環境の向上を図ります。

既に実施している小学校に加え、令和7年度から、他の複数での小学校においても実施できるよう、準備を進めていきます。

##### (令和6年度振り返り)

小学校1校で水泳授業の民間委託を実施したところ、子どもの泳力に合わせた授業が行え、個々の

泳力の向上が感じられました。また、学校プールの管理が不要となり教員の働き方改革につながっています。令和7年度は計3校で民間委託の拡充を予定しています。

## 中央図書館の運営を見直しサービスを拡充します

行政改革による図書館運営の見直しを図るため、図書館の窓口業務等を民間事業者へ委託し、民間のノウハウを活かしたサービスを利用者へ提供していきます。

予約本の受け渡しやレファレンス業務など、図書館全体として、より充実したサービスを提供していきます。

### (令和6年度振り返り)

一人あたりの貸出冊数を5冊から10冊に増やし、貸出期間を2週間から3週間に延ばしたことにより、来館の頻度が減少したため貸出冊数が前年度比で約3%減少しましたが、予約件数は24%増、レファレンスは2倍に増え、窓口サービスは充実しました。他には、本の福袋やぬいぐるみおとまり会などのイベントを実施しました。

## 園児 児童 生徒へ安全な給食を提供していきます

卵、乳のアレルゲンを持つ園児、児童、生徒に対して、アレルギー対応食を提供していきます。

学校給食の副食で、完全弁当該当者以外のアレルゲンを全て除去した献立の提供を目指します。

### (令和6年度振り返り)

卵、乳のアレルゲンを持つ園児と、児童・生徒には、新規、継続面談を行った上でアレルギー対応食を提供しました。また、小中学校において学校給食の副食で、アレルゲンを89品目除いた給食を提供しました。

## 【議会事務局】

部を構成する課等	課等の主な役割
議事課	・議員活動をサポートしつつ、議会運営全般にかかわる事務を行っています。

### 令和6年度 部の重点取組

#### ICT を活用した円滑な議会運営を支援します

議員全員にタブレット端末を1台ずつ貸与し、データによる情報共有、ペーパーレス化の推進を支援します。

また、令和5年第1回定例会から本会議及び委員会のライブ配信を開始し、傍聴できる環境を充実させ、市民の皆さんに開かれた身近な議会となるよう支援します。

#### (令和6年度振り返り)

令和4年2月からタブレット端末の貸与を開始し、以降市から議会への情報提供をはじめ、議員間あるいは議員と議会事務局間の情報伝達をデータで行うことにより、ペーパーレス化だけでなく迅速で効率的な情報共有が可能になりました。データの取扱いは、紙を媒体としていたときと同様、今後も慎重に対応していきます。また、本会議及び委員会をライブ配信していることについて、引き続き市民に広く浸透するような周知方法を検討していきます。

#### 議会からの情報発信を支援します

「議会だより(ぎかいたいむ)」を、1年に5回発行しています。今年度は、市民の皆さんにとって、より見やすく馴染みのあるだよりとなるよう、公募型プロポーザルを実施して、紙面をリニューアルできるよう支援します。

#### (令和6年度振り返り)

「議会だより(ぎかいたいむ)」について、令和6年度も5回発行しました。公募型プロポーザルを実施し、令和7年2月号(令和6年12月定例会号)から新しいデザインでの発行を開始しました。